

第三南遣艦隊司令部

第三南遣艦隊戰時日誌

軍機

昭和十七年

三月三十一日

7/10

7日送付

海軍少将 堀井 良一

2111

目次

一 經過

二 人員ノ現狀

三 令達報告等

四 參考

(1) 麾下艦船部隊

(2) 戰訓

五 作戰經過概要

(終)

自昭和十七年三月一日
至昭和十七年三月五日
第三南遣艦隊戰時日誌

作戰及一般部

一、經過

(イ) 一般情勢

「バタン」半島及「コレヒドル」島ノ敵ハ依然ハ防備ヲ強化シテリ
之ガ補給亦繼續セラレアリ
比島全土ニ於ケル米比軍ハ我軍ニ依リ攻略セラレタル
要地ヲ除キ依然ハ活潑ニ抗戦ス

(ロ) 敵軍ノ情勢

「バタン」半島及「コレヒドル」島ノ敵軍ヲ中心トシ米比軍ハ
比島各地ニ在リテ戰意尚旺盛ナリ
「マニラ」灣口要塞ニ據ル敵軍ハ我ガ海上封鎖及補給

路、遮斷並ニ航空作戰、強化ニ伴ヒ漸次逼迫孤立シ
敵脱走兵増加セリ

(ハ) 任務編成配備

(一) 艦隊區分 (三月十日附)

隊名	隊番號	艦	船(隊部隊)番號
第三特別根據地隊	二三三	球磨	重山
	二三二	警備隊	
	二三一	第十七號掃海艇	
		第十八號掃海艇	
		第十九號掃海艇	
		第二十號	
		第十一號	
		第十二號	
		第十三號	
		第十四號	
		第十五號	
		第十六號	
		第十七號	
		第十八號	
		第十九號	
		第二十號	
		第二十一號	
		第二十二號	
		第二十三號	
		第二十四號	
		第二十五號	
		第二十六號	
		第二十七號	
		第二十八號	
		第二十九號	
		第三十號	
		第三十一號	
		第三十二號	
		第三十三號	
		第三十四號	
		第三十五號	
		第三十六號	
		第三十七號	
		第三十八號	
		第三十九號	
		第四十號	
		第四十一號	
		第四十二號	
		第四十三號	
		第四十四號	
		第四十五號	
		第四十六號	
		第四十七號	
		第四十八號	
		第四十九號	
		第五十號	
		第五十一號	
		第五十二號	
		第五十三號	
		第五十四號	
		第五十五號	
		第五十六號	
		第五十七號	
		第五十八號	
		第五十九號	
		第六十號	
		第六十一號	
		第六十二號	
		第六十三號	
		第六十四號	
		第六十五號	
		第六十六號	
		第六十七號	
		第六十八號	
		第六十九號	
		第七十號	
		第七十一號	
		第七十二號	
		第七十三號	
		第七十四號	
		第七十五號	
		第七十六號	
		第七十七號	
		第七十八號	
		第七十九號	
		第八十號	
		第八十一號	
		第八十二號	
		第八十三號	
		第八十四號	
		第八十五號	
		第八十六號	
		第八十七號	
		第八十八號	
		第八十九號	
		第九十號	
		第九十一號	
		第九十二號	
		第九十三號	
		第九十四號	
		第九十五號	
		第九十六號	
		第九十七號	
		第九十八號	
		第九十九號	
		第一百號	

附 屬					第三十二特別 根據地隊	第三十一特別 根據地隊	
七	六	五	四	三	二 三 四		
朝山丸	石狩丸	第三十六共同丸	第二測量隊	讚岐丸	日祐丸	(一) 敬言備隊 (二) 第一砲艦隊 (興嶺丸 武昌丸) (三) 第五十一駆潜隊 (第(號)東光丸 第十二京丸 第十三京丸) (四) 第三十二航空隊	(六) 第五十三駆潜隊 (興嶺丸 第二京丸 第十一京丸) (七) 第三十一航空隊 (八) 第三十一通信隊

対
屬

第百三經理部、第百三軍需部、第百三工作部 第百三建築部、第百三病院 第二氣象班、第三氣象班、第六氣象班 第七氣象班、第八氣象班
--

註

上旬期間ハ前月ト全一編成ニシテ三月十日附聯合艦隊ノ一部改變ニ伴ヒ十七掃十八掃三十一駆潜隊日祐丸讃岐丸朝山丸夫々當艦隊ニ編入サレタレモ第五十三駆潜隊中第十一京丸ハ三月二日敵飛行機ノ襲撃ニ依リ撃沈セラレ同十五日附特設駆潜隊編成ヨリ除カル

(二)軍隊區分茲ニ主要任務(菲島部隊)

上旬期間ニ於テ第六駆逐隊蘭印部隊ヨリ除カレ菲島部隊ニ編入サレタレモ十八日附菲島部隊ノ作戰任務ヲ解ク其他概ネ前月ト同一兵力ヲ以テ同一任務ヲ續行ス

菲 略第一攻 部隊	封鎖部隊	主 隊	區 分
	八重山艦長	直 率	指 揮 官
318♀ 陸 戰 隊	到着時 ヨリ 20dg 2dg 24dg 31dg 河本支隊 リンガエン	球磨灣 三十一航空隊 讚岐丸	兵 力
マニラ 灣口要地 攻略	マニラ 灣封鎖 敵艦船拿捕 撃破	全 作 戰 支 援	主 要 任 務

三月十日ニ至リ前述ノ兵力當艦隊編入十二(附)第二十四駆逐隊ハ
馬來部隊ヲ第二駆逐隊ハ蘭印部隊ヲ夫々除カレ菲島部隊編入サル
尚十一航空艦隊第二空襲部隊一部ヲ下旬ヨリ約二週間ノ豫定ヲ
以テ菲島方面作戰ニ協力セシメラル
菲島部隊ハ上中旬共概ネ前月ノ任務ヲ續行セルモ下旬ヨリ
左ノ兵力部署ニ依リ作戰ス

警備		隊部		西島	
警備	東哨隊	通信部隊	警備隊	西哨隊	海部第二掃海隊
					海部第一掃海隊
□ 3KF					
32B♀ 司令官		31B♀ 司令官			
列六才警備隊サテアウホロ	19♀ (武昌吹) 第十三京丸 22♀	310♀ 第二六七七氣象班	マニラ「キヤビ」各警備隊 サンフェルナド「ロン」 「ガスビ」各派遣隊	37♀ (阿蘇丸) 53chg	318♀ 第二測量隊一部
担任区域内、警備戒敵	担任区域内、警備戒敵 艦 船、拿捕撃破	通信連絡	担任区域、警備 氣象通報	区内交通保護	測量 マニラ「灣」掃海警備 水路嚮導哨戒
			マニラ「灣」スビク「灣」掃海		

附屬部隊	補給部隊	護衛隊ニ	隊	
			略部	第二攻
直率		24dg 司令	2dg 司令	
百三建築部	百三病院部	百三工務部	百三經理部	百三軍需部
日祐丸 第三十六共同丸 第二測量隊(各部)		石狩丸 朝山丸 (きんるい丸)	24dg (20河村支隊リンガエニ 滞到着時迄)	2dg (20欠)
各担任業務又ハ 命令事項		補給	輸送船隊護衛ハ十島 及カゲヤニ攻略	輸送船隊護衛セブ島及コラバト攻略
			セブ市飛行場補給基地設備	セブ港攻略
			各派遣隊第三八氣象班 564(第十一系九区武昌丸 セブ派遣陸戦隊 基地設営隊ヲ含ム) 328	掃蕩氣象通報

4

1125

協力の部
航空部
空隊
11AF 菲島派遣 隊指揮官
flax18 高空
fox9 台南空
コレヒドル要塞 半島附近敵艦艇攻撃 敵航空基地撃破

(二) 作戰指導

二月二十七日「サンホアング」攻略作戰ヲ開始旗艦球磨直接指導、
下ニ三月二日完全ニ攻略ス

「タン」半島「コレヒド」島、敵ハ依然防備ヲ強化シ「アルト」
半島ノ地勢上陸軍進撃思ハシカラザル狀況ニ鑑ミ艦隊ハ

下旬十一航空艦隊一部比島派遣ヲ得「クラークアール」ド「基地」トシ
陸軍航空部隊ト協力「コニラ」灣口敵要塞ニ對シ攻撃
ヲ開始セリ

一方敵ノ海上補給遮断ヲ一層強化シ「サンホアング」攻略作戰ニ
引續キ「ロア」港ヲ攻撃敵補給基地ノ一部ヲ撃摧ス

「バオ」ヲシテ南方作戰部隊ニ對スル補給基地トシテ整備ニ努
メシム

127

(オ)

戦備及政策事項
特記ノ事項ナシ

一〇	二九	三八	二七	二六	二五	二四	二三	二二	二一	一〇	一八	一七	一六	一五	一四	一三	一二	一一	一〇	九	八	七	六	五	四	三	二	一	日		
湾クツビス										港ヲバ			湾ニエガニリ										球磨								
ナスケア湾	オロンガボ	オロンガボ	オロンガボ	オロンガボ	オロンガボ	オロンガボ	オロンガボ	オロンガボ	オロンガボ	オロンガボ	オロンガボ	オロンガボ	オロンガボ	オロンガボ	オロンガボ	オロンガボ	オロンガボ	オロンガボ	オロンガボ	オロンガボ	オロンガボ	オロンガボ	オロンガボ	オロンガボ	オロンガボ	オロンガボ	オロンガボ	オロンガボ	オロンガボ	オロンガボ	八重山
高碓				海航										チンゲリー				日初丸													
湾イセルハ				湾ニエガニリ										中海航				讃岐丸													
ポガニロオ										雄高馬公										幸六共同丸											
スベツク湾										タバオ										朝山丸											

三〇	九	六	七	六	五	四	三	二	一〇	九	八	七	六	五	四	三	二	一	村雨	第二駆逐隊
ス								ミ			ス								青雨	第二駆逐隊
ツ								リ			ワ								春雨	第二駆逐隊
ク																			夕立	第二駆逐隊
任務 戦 依																				
航	昭南							タ	レ	セ									海風	第二駆逐隊
海	島										海航								江風	第二駆逐隊
港 八セル																				
																			山風	第二駆逐隊
島																				
																			長連丸	第六掃海隊
																			長連丸	第六掃海隊
																			播州丸	第六掃海隊
港																				
																				鴻
																				紐
航	ク																			栗
海																				

1280

海軍功績別表印長

軍機

第三南遣艦隊機密第九號

月十九日送付

菲島部隊戰鬥詳報 第三號

第三南遣艦隊戰鬥詳報 第三號

第一段第四期作戰 自昭和十七年三月十日 至昭和十七年四月九日

第三南遣艦隊司令部

8 / 10

1311

一 形勢
二 計畫書
三 經濟
四 命令
五 戰果
六 功績

報告等
被害

目

次

(目次終)

一 形勢

(イ) 三月中旬ニ於ケル菲島方面敵軍ノ情勢

(一) 菲島方面残存敵海上及航空兵力ハ一月下旬ト大差無キモ
 残存敵機ハ稍活潑トナリ「コレヒドル」「リマイ」「バタイン」半島
 東岸「セブ」「マライ」「バライ」「ホルモンテ」等ノ各飛行場ヲ使用
 時々未襲ス

(二) 「バタイン」半島及「マニラ」湾口要塞方面ニ蟠踞スル敵ハ菲島南
 方諸島ノ残敵ト相呼應シ依然抵抗ヲ繼續シツツアリ

(四) 三月中旬ニ於ケル菲島方面友軍ノ情勢

(一) 二月末「シンドロ」島北東部ノ要地ヲ又三月二日菲島南方諸
 島ノ據點「カホアンガ」ヲ占領シタル「カ」スビツク「湾」基地ノ利
 用可能トナリ且又三月上旬以降逐次菲島部隊ノ兵力増
 強セラレタルニ依リ「マニラ」湾口ヲ封鎖監視ヲ強化シ「マニラ」湾
 口要塞攻落ノ態勢着々整ヒツツアリ

(二) 「マニラ」「ババオ」方面海軍根據地施設ハ着々進捗シツツアリ
 (三) 第十一航空艦隊ノ菲島派遣兵力ハ陸軍ノ致撃等ニ呼應シ「マ

ニラ「湾口要塞攻撃」為「クラークフィールド」ニ進駐準備中ナリ

(四)「バタワン」半島及「マニラ」湾口要塞方面ノ敵ノ意外ニ頑強ニシテ

陸軍ハ第十四軍ニ急速兵カヲ増強中ナリ

第十四軍ニ於テハ右増派兵力未着ノ上概ネ三月下旬ヲ期

シ「バタワン」半島總攻撃ヲ開始ノ準備中ナリ

ニ計畫

(イ) 作戰方針

(一) 「マニラ」湾ノ封鎖ヲ愈々嚴ニシ敵艦船ヲ拿捕撃破シテ敵ノ連

絡ヲ遮断シ且敵ノ脱出ヲ完封ス

(二) 第十航空艦隊一部及第十四軍ト協同速ニ「マニラ」湾口要

塞ヲ攻略シ且附近所在敵艦船ヲ殲滅シテ速ニ「マニラ」湾口ヲ

啓開ス

(三) 第十四軍ト協同シ速ニ菲島南方諸島ヲ戡定ス

(四) 菲島海域出現ノ敵潜水艦ヲ撃手滅シ海上交通ヲ確保ス

(五) 「マニラ」外「バオ」方面根據地諸施設ヲ急速整備ス

(四) 艦隊區分
 (一) 三月十日現在 第三南進艦隊艦隊區分

隊名	隊番號	艦船(隊部隊)番號
第三十特別根據地隊	二三三	(一) 警戒備隊 (二) 第一砲艦隊(區慶興丸 武昌丸) (三) 第三十驅潜隊(區南浦丸 木曾丸 阿蘇丸) (四) 第三十航空隊 (五) 警戒備隊 (六) 第三十七號掃海艇 (七) 第三十八號掃海艇 (八) 第三十驅潜隊(區南浦丸 木曾丸 阿蘇丸) (九) 第三十砲艦隊(區南浦丸 木曾丸 阿蘇丸) (十) 第三十驅潜隊(區南浦丸 木曾丸 阿蘇丸) (十一) 第三十航空隊 (十二) 警戒備隊 (十三) 第一砲艦隊(區慶興丸 武昌丸) (十四) 第三十驅潜隊(區南浦丸 木曾丸 阿蘇丸) (十五) 第三十航空隊
第三十特別根據地隊	二三三	(一) 警戒備隊 (二) 第一砲艦隊(區慶興丸 武昌丸) (三) 第三十驅潜隊(區南浦丸 木曾丸 阿蘇丸) (四) 第三十航空隊 (五) 警戒備隊 (六) 第三十七號掃海艇 (七) 第三十八號掃海艇 (八) 第三十驅潜隊(區南浦丸 木曾丸 阿蘇丸) (九) 第三十砲艦隊(區南浦丸 木曾丸 阿蘇丸) (十) 第三十驅潜隊(區南浦丸 木曾丸 阿蘇丸) (十一) 第三十航空隊 (十二) 警戒備隊 (十三) 第一砲艦隊(區慶興丸 武昌丸) (十四) 第三十驅潜隊(區南浦丸 木曾丸 阿蘇丸) (十五) 第三十航空隊
第三十特別根據地隊	二三三	(一) 警戒備隊 (二) 第一砲艦隊(區慶興丸 武昌丸) (三) 第三十驅潜隊(區南浦丸 木曾丸 阿蘇丸) (四) 第三十航空隊 (五) 警戒備隊 (六) 第三十七號掃海艇 (七) 第三十八號掃海艇 (八) 第三十驅潜隊(區南浦丸 木曾丸 阿蘇丸) (九) 第三十砲艦隊(區南浦丸 木曾丸 阿蘇丸) (十) 第三十驅潜隊(區南浦丸 木曾丸 阿蘇丸) (十一) 第三十航空隊 (十二) 警戒備隊 (十三) 第一砲艦隊(區慶興丸 武昌丸) (十四) 第三十驅潜隊(區南浦丸 木曾丸 阿蘇丸) (十五) 第三十航空隊

9877

兵力部署

(一)二月十日現在 菲島部隊兵力部署

主隊	區分指揮官	直率	兵力	主要任務	担任区域
		菲島部隊	二二九ノ二	日祐丸	
			二二九ノ三	讚岐丸	
			二二九ノ四	第二測量隊	
			二二九ノ五	第三十六共同丸	
			二二九ノ六	石狩丸	
			二二九ノ七	朝山丸	
司令部	担任区域内			第百三經理部 第百三軍需部 第百三作部 第百三建築部 第百三病院 第二氣象班 第三氣象班 第六氣象班 第七氣象班 第八氣象班	マニラ島南東端

附屬

第三十三航空隊

	<p>菲島 西部隊</p>	<p>菲島 東部隊</p>
<p>□ 3KH</p>		
<p>▽ 31ABg</p>		<p>▽ 32ABg</p>
<p>第百三經理部 第百三軍需部</p>	<p>31ABg 八重山 栗 鴻 雉 第二測量隊 第三十六共同丸 第六第七氣象班</p>	<p>32ABg 第八氣象班 警備隊</p>
	<p>六 氣象通報 五 測 量 四 海上交通保護 三 主要港灣の防備 二 警 備 一 敵掃蕩作戰</p>	<p>一 敵掃蕩作戰 二 警 備 三 主要港灣の防備 四 海上交通保護 五 氣象通報</p>
	<p>担任区域内、 一 敵掃蕩作戰 二 警 備 三 主要港灣の防備 四 海上交通保護 五 測 量 六 氣象通報</p>	<p>カスルアン岬及今 島南西端の岬 岬ヲ結ブ五八度(三 三度)線以南、3KH 担任区域 同右線以北、3KH 担任区域</p>

菲			封鎖部隊	主隊	區分	作戦方針	補給部隊	附屬部隊
第掃海部隊	第掃海部隊	第攻陸部隊						
3108g 司令官			重山艦長	直率	指揮官	基キ三月二十四日左ノ兵力部署トナセリ	直率	第百三工作部 第百三病院 第百三建築部
3108g 水上警備隊	400g 栗ノ阿蘇丸	3108g 陸戦隊						
マニラ湾掃海警備測量			敵艦船ノ手捕撃破	全作戦支援	主務	力	補給	各担任業務
路嚮導哨戒								
マニラ湾「スピック」掃海								
マニラ湾「スピック」掃海								

第一護衛隊	隊部	東島	菲	隊部	西島	
	第二	警備隊	東哨戒部隊	通信部隊	警備隊	西哨戒部隊

3KF

2dg 司令	32abg 司令官			31abg 司令官		
2dg (20欠)	32dg セブ （基地及警備隊司令）	51dg 第三哨戒隊 武昌丸	ババ 警備隊 ンカ 第三第八氣象班	16g 盛丸 第三哨戒隊 (32dg)	31cg 「マニラ」「ギヤヒテ」各警備隊 「サンフェルナンド」「ロシブロ」 「レカスビ」各派遣隊 第三六七氣象班	3Gg (阿蘇丸) 53cg 第二測量隊一部
輸送船隊護衛セブ島及コトト	セブ 港攻略 セブ 市飛行場補給基地設備	擔任区域内、警備殘敵掃蕩、氣象通報	擔任区域内、警備敵艦船ノ拿捕撃破	通信連絡	擔任区域内、警備氣象通報	「リンガエン」灣警備及擔任区域内交通保衛

<p>隊部力按</p> <p>航空部隊</p>	<p>附屬部隊</p> <p>補給部隊</p>	<p>第二護衛隊</p>	
<p>隊指揮官</p> <p>144 菲島派遣</p>	<p>直率</p>	<p>24dg 司令</p>	
<p>fco x 18 高雄空</p> <p>fco x 9 台南空</p>	<p>日 祐 丸</p> <p>石狩丸 朝出丸 ぎんぎ丸</p> <p>第三十六共同丸</p> <p>第二測量隊(部欠)</p> <p>第百三軍需部</p> <p>第百三經理部</p> <p>第百三工作部</p> <p>第百三病院</p> <p>第百三建築部</p>	<p>24dg (20 八村支隊リカギ)</p> <p>博到着時迄</p>	
<p>「コレド」要塞「バレン」半島 及同附近敵艦艇攻撃敵 航空基地撃滅</p>	<p>各担任業務又所命事項</p>	<p>補給</p> <p>輸送船隊護衛パイ島及カ ヤン攻略</p>	<p>攻略</p>

三 經過

(1) 兵力ノ変遷

(一) 三月十日附第三南遣艦隊ニ編入兵力左ノ通

第十七號掃海艇 第十八號掃海艇

第三十驅潛隊(第十號 第十一號 第十二號 驅潛艇)

日祓丸 讃岐丸 朝山丸

(二) 三月十二日附

第二驅逐隊(下村雨 五月雨 春雨 夕立)(三月十六日「スピック」湾着)

第三十驅逐隊(下海風 江風 山風)(四月五日「リンカエ」着)

八菲島部隊ニ編入セラレ今日附何レモ主隊ニ編入ス

(三) 三月十八日附

第六驅逐隊(下響音 曉 雷 電)ノ菲島部隊作戰任務ヲ解ク

(四) 四月五日附 鴻ノ菲島部隊作戰任務ヲ解ク

(2) 各隊ノ經過概要

(一) 主隊

至三月十日	自三月十日	球磨	讃岐丸	6dg
至三月二十三日	自三月二十三日	球磨	讃岐丸	6dg
至三月二十九日	自三月二十九日	球磨	鴻(彌霧)	讃岐丸
至四月九日	自四月九日	球磨	鴻(彌霧)	讃岐丸

(1) 機密 菲島部隊命令作第七號ニ依リ 三月十三日ヨリ今十
 八日迄「シジャン」海「ヒサヤン」海及「スル」海北部方面ノ敵船舶搜
 索拿捕ニ任ジ 純客船「プリンスオブネグロス」(五三老)及貨客船
 「ポリナオ」(三〇老)ヲ合手捕セリ

十七日夜同隊ハ「スビック」灣ニ向ケ「タブラス」海峡航行中敵潜
 襲撃ヲ受ケ之ヲ攻撃セルモ効果不明

三月十九日附 菲島部隊任務ヲ解キタリ

(2) 球磨八十八日「リンガエン」灣發「マスバテ」島「バレラ」港着 拿捕

船ニ隻又ヲ機械修理ノ上三月二十四日「スビック」灣ニ回航セリ

春雨ハ球磨ノ前路ヲ警戒中「ベルテ」海峡ニ敵潜ヲ探知攻撃
 シ之ヲ撃沈セリ

(3) 四月九日夜半 菲島部隊指揮官ハ球磨及雉ヲ率井「シダ」
 オ「海」向フ途上セバ「島」南端「タシ」岬沖ニ於テ敵高速魚雷
 艇ニ隻ト交戦敵ハ銃撃及雷撃ヲ以テ應戦シツセバ「港」方面
 ニ遁入セリ 黎明ニ至リ「嶺岐丸」飛行機ヲ以テ右奥雷艇ヲ搜索
 攻撃シ其一隻又ヲ樹坐炎上他ニ隻ニ有効ナル爆撃ヲ加ヘタリ

本戦闘ニ於テ敵ノ魚雷(雷跡ヲ認ム)中一六球廢ノ船ニ命中
(爆發セズ)セル外球廢ニ機銃被彈若干アリシモ戦闘航
海ニ支障ナシ

(4) 三月十九日バターン半島及マニラ湾口要塞攻略作戦開始ニ
先立チ菲島方面海陸軍指揮官連名ニテ左菲島米軍
指揮官「ウエンライト」ニ死降伏勸告文(回答期限ニ三月二〇日)ヲ
飛行機ニテ「バターン」半島及「マニラ」湾口要塞ニ撒布セリ二十日
一三〇ニ至ルモ回答無ク陸軍ハ「バターン」半島ニ對シ三月三十日ヨリ
一部四月三日ヨリ總攻撃ヲ開始四月九日敵ハ「バターン」半島ニ
関スル限リ降伏ヲ申出タルモ菲島ノ全面的降伏ヲ要求
シ陸軍ハ攻撃ヲ續行中

(二) 菲島西部隊

「リンガエン」湾「スピック」湾ノ哨戒水路嚮導ヲ「マニラ」湾口ヲ封鎖
監視ノ強化並ニ海上交通保護ニ任スルト共ニ「マニラ」湾口要塞
攻略及其直後ノ急速水路啓開ニ對スル諸準備ヲ完了セリ
主ナル經過左ノ通

(三) 菲島東部隊

(一) 三月十六日 維多利亞陸軍のサンホセ (シントロ島) 攻略ニ協力セリ
 (二) 三月二十日 3100ノブエルトカレラ 派遣隊ヲ撤シ全隊ニ十日春雨
 夕立ト共ニロソブロソヲ占領同地ニ移駐セリ

「タバオ」方面ノ警戒備及「サンボア」方面ノ残敵掃蕩ヲ實施
 スルト共ニ担任区域ノ敵潜警戒海上交通保護ニ任シタリ
 主ナル經過左ノ通

(一) 三月十五日 第五十一駆潜隊 (第十三京丸欠) ハ「マテ」ニ陸戦隊ヲ
 揚陸 監林中ノ邦人十九名ヲ救出セリ

(二) 三月二十日 第三十二航空隊飛行機ハ「タバオ」湾内ニ於テ潜没
 敵潜一隻又ヲ發見之ヲ爆撃シ命中セルモ深度大ナリシ為効
 果不明

(三) 第三攻略部隊ハ「セ」港攻略 (四月十日) ノ為四月八日「サンボア」
 ンガヲ出撃手セリ

(四) 封鎖部隊 (三月二十日以後以降)
 「スビック」湾及「ナスブ」湾ヲ基地トシ「マニラ」湾ノ封鎖監視並ニ

敵船舶ヲ合手捕撃破ニ任シタリ
主ナル經過左ノ通

(1) 三月二十九日春雨ハフオーチーン島沖ニ敵魚雷艇ヲ認メ之ヲ
撃手攘セリ

(2) 三月三十一日夜半春雨夕立ハバターン島西岸敵陣地率
制攻撃ヲ實施シ陸軍ノ同半島攻撃ニ協力セリ

(3) フオーチーン島沖ニテ栗ハ四月五日敵潛望鏡ヲ發見第十
二號驅潛艇ハ四月六日敵潜水艦ヲ聴知シ夫々攻撃セルモ何
レモ効果不明

(4) 四月九日第三十一驅潛隊ハフオーチーン島沖ニ於テ敵魚雷
艇二隻及武裝高速艇一隻又ト交戦魚雷艇一隻及高速
艇ヲ合手捕セリ

(五) 第十航空艦隊菲島派遣隊

菲島部隊及第十四軍ニ協力シ三月二十四日攻撃開始以
未連日「コレヒドル」島要塞ヲ主目標トシ爆撃ヲ加ヘ多大損
害トナリ威ヲ敵ニ及ヘタリ

第三南遣艦隊戦時日誌

第三南遣艦隊司令部

軍機

第三南遣艦隊司令部

海軍部調査部支取

昭和十七年四月三十一日

昭和十七年四月三十一日

八

7/10

一月八日送付



目次

一 經過

二 人員ノ現狀

三 令達報告等

四 參考

(1) 麾下艦船部隊

(2) 戰訓

五 作戰經過概要

(終)

一 經過

(1) 一般情勢

三月中旬以以降陸軍陸上部隊ハ着々バタシ半島總攻撃ヲ準備シテリシ處準備概テ完了シ四月三日總攻撃ヲ開始ス
 艦隊ハ每空兵力及十一航空艦隊比島派遣隊ヲ以テ陸軍ハ協力ヲ
 猛攻ヲ加フコレヒトル島敵對空砲火熾烈ナリ連日猛爆撃ヲ加
 ヘ下旬ニ入り島内一側ヨリ逐次沈黙スルニ至ル
 バタシ半島ノ敵ハ我猛攻ニ依リ九日同方面敵指揮官ヲシテ
 少將降伏ヲ申出タル處全米比軍ノ降伏ヲ承認セス仍依
 然攻撃ヲ續行ス十日遂ニ全バタシ半島ノ米比軍ハ全面的

2611

降伏ス

同日海軍陸戦隊ハ「リベレス」敵海軍基地ニ突入之ヲ占領シ
 「ヒサヤ」「ミンタナオ」島地區ノ残敵ハ「パナイ」島「ネグロス」島「ミ
 ンタナオ」島北部ニ依然航空基地ヲ有シ重爆撃機十数機
 ヲ有スルモノ、如ク「タバオ」ニ未襲ス

一方「コレヒドル」島攻略目竣ニ迫リ比島各地戡定作戦ニ備フ

敵軍ノ情勢

「バタン」攻略成リ「コレヒドル」島ノ攻略目竣ニ迫リ比島各
 地所在ノ敵ハ我猛攻ニ依リ逐次降伏セラレ戦意漸次衰
 失ノ相觀ヲ呈ス

注

上旬期間ハ前月ト全編制ニシテ四月十日附第一砲艦
 隊解隊武昌丸慶興丸ハ夫々第三十二特別根據地隊ニ編
 入石狩丸ヲ除キ三星丸ヲ編入センノラル。但シ三日空丸ハ海
 軍省ニ配属輸送任務ニ從事中ニ付當分ノ間現任務
 ヲ續行セシム

西 海部 隊	第 二 掃	島 海部 隊	第 一 掃	菲 略部 隊	第 一 攻	封鎖 部隊	主 隊	區 分
3 K F								指揮官
3/13g 司令官						艦 長	八 重 山	
第 二 測 量 隊 一 部	3/13g 水 上 警 備 隊	4/6g 栗 丸 17W 18W	3/13g 陸 戰 隊	3/13g 陸 戰 隊	3/13g 陸 戰 隊	3/13g 陸 戰 隊	3/13g 陸 戰 隊	兵
測 量	「マニラ」湾掃海、警備	「マニラ」湾「スロツ」湾掃海水 路嚮道哨戒	「マニラ」湾口要地攻略	「マニラ」湾封鎖	敵艦船、拿捕、撃破	「マニラ」湾封鎖	全 作 戰 支 援	カ
								主 要 任 務

(一) 軍隊區分並ニ主要任務 (菲島部隊)

四月一日現在

1971

隊部東島三			隊部			
略部隊	第ニ攻	隊警備	東哨戒隊	通信部隊	隊警備	西哨戒隊

司令

32 Bg 司令官						
地設隊ヲ命令シ	5/chg (予京丸) 武昌丸 32 Bg 巡邏陸戰隊 (基)	「タハオ」警備隊「サ示 マシカ」ホロ各派遣隊 第三八氣象班	149 (武昌丸) 第十三京丸 (32 Bg)	三十一通信隊	第ニ六七氣象班 「マニラ」「キヤビラ」各警備 隊「サラエルナド」「ロラロ」 「レカスド」各派遣隊	369 (阿蘇丸ス) 53 chg
地設備	「セブ」港攻略 「エフ」市飛行場 補給基	掃揚氣象班報	担任区域内警戒隊 船ノ拿、抑動手破	通信連絡	担任區域ノ警備 氣象通報	「リンガエン」灣警戒及担任 区域内交通保護

協 部 航 隊 空	補 隊 給	護 衛 隊 二	第 一 護 衛 隊
隊 11 師 指 菲 揮 島 官 水 官 遣	官 長		24dg 司 令
flo x 18 高 空 fo x 9 台 南 空	日 祐 丸 第 三 十 六 共 同 丸 第 二 測 量 隊 (一 部 欠) 百 三 軍 需 部 百 三 經 理 部 百 三 工 作 部 百 三 建 築 部 百 三 病 院 部	石 狩 丸 朝 山 丸 (オスロイ丸)	24dg (20 河村支隊リ 及カヤン攻略 2dg (20 欠)
敵 航 空 基 地 撃 滅 半 島 及 同 附 近 敵 艦 艇 攻 撃 コレントル 母 艦 バタールン		補 給	輸 送 船 隊 護 衛 セブ 及 コ ン ト 輸 送 船 隊 護 衛 バ ナ イ 島

註

前月ヨリ引キ續キ菲島戡定作戰續行中ニシテ上旬ニ於テ
 鴻ヲ當艦隊ノ作戰指揮下ヨリ除キ原隊ニ復センノ
 維ヲ主隊ニ粟ヲ封鎖部隊ニ編入セリ而シテ十日附
 第一砲艦解隊セラレ各艦夫々三十二特別根據地隊
 編入トナリ各前任務ヲ續行ス
 第二十四駆逐隊ハ河村支隊乗組ノ輸送船ヲ護衛五月
 リンガエン灣着所定ノ任務ニ就ク下旬ニ於テ二十二日
 菲島東部隊ノ編制ヲ改メ（菲島部隊電令作第三四
 號、通）同部隊指揮官ヲシテ陸軍ト協同「ミンダナオ」
 島戡定作戰ニ從事セシメタリ同日附三十二航空隊
 ハ菲島東部隊航空部隊トナリタハオ灣及周辺ノ
 對空對潜哨戒陸戰協力海上交通保護ニ任ズ

中旬ニ於テ聯合艦隊次期作戰ノ關係上第一驅逐
 隊第二十四驅逐隊ヲ聯合艦隊第一期兵力部署ニ依
 各部隊編入ノ為同隊ノ交代トシテ十七日附第十五驅
 逐隊及荒潮朝潮(二十三日ヨリ八驅一小隊トシテ)ヲ非島
 部隊ニ編入セラレ 第二十五驅逐隊ハ二十八日當方面着
 隊ニ編入八重山艦長ノ指揮トシテ入ラシム
 朝潮荒潮ハ本月ヨリ於テ現地ニ到着スルニ至ラズ
 第二驅逐隊及第二十四驅逐隊ハ三十日附ヲ以テ非
 島部隊ヨリ除キ所定ノ部隊ニ入ラシム
 十一航空艦隊派遣航空部隊ノ内台南空ハ上旬二日
 當方面基地撤収原隊歸高雄空ハ下旬二十一日基地
 撤収原隊ニ復歸セリ

作戰指導

「バタワン」半島及「コレヒドル」島攻略作戰ハ四月三日總
 攻撃ヲ開始シ十日遂ニ「バタワン」半島米比軍指揮官
 我ニ降伏ス同日海軍陸戰隊「マリベレス」占領
 「コレヒドル」島敵前上陸準備ニ着手セシム
 「ヒサヤ」地區「ミンダナオ」北部、敵航空基地ノ覆
 滅並ニ敵補給基地覆滅ヲ企圖シ十日陸軍ト協力
 セ「セブ」島攻略セ「セブ」飛行場ヲ急速整備シ空一部ヲ
 進出セシメ「ネグロス」島「バナイ」島「ミンダナオ」島北
 部敵航空基地ヲ攻撃手覆滅ス

四月三十日「スビク」湾旗艦球磨艦上ニ於テ「コレヒドル」
 島攻略作戰及「ミンダナオ」島戡定作戰ニ関シ陸海
 軍協定ヲ行フ

六) 戦備及政策事項

海陸兩軍共ニ主カヲ以テ「バタシ」半島及コレヒドル島
 攻略作戰ヲ実施ス
 艦隊ハ「セブ」攻略ニ伴ヒ「マニラ」「ダバオ」ト共ニ「セブ」ヲシテ
 補給基地トシテ整備ニ着手ス
 「ミンタナオ」西部及「スール」諸島モロ族ニ對シ「ホル」
 島酋長「オンブラ」ヲシテ宣撫工作ヲ実施セシム

三 。九 八 七 六 五 四 三 二 一 。九 八 七 六 五 四 三 二 一 。九 八 七 六 五 四 三 二 一	日	十七 掃	第三十一 特別 根據地 隊
區 有 灣 ク ッ ピ ス	ス ピ ッ ク 灣 區	ス ピ ッ ク 灣 區	
區 有 灣 ク ッ ピ ス	ス ピ ッ ク 灣 區	ス ピ ッ ク 灣 區	
區 有 灣 ラ ニ マ	オ ロ ン ガ ボ	區 有 灣 ラ ニ マ (灣 グ グ ス ナ 地 基)	三十一 號 潛 隊
區 有 灣 ラ ニ マ	オ ロ ン ガ ボ	區 有 灣 ラ ニ マ (グ グ ス ナ 地 基)	十 號 潛 隊
區 有 灣 ラ ニ マ	オ ロ ン ガ ボ	區 有 灣 ラ ニ マ (グ グ ス ナ 地 基)	十 號 潛 隊
區 有 灣 ラ ニ マ	オ ロ ン ガ ボ	區 有 灣 ラ ニ マ (グ グ ス ナ 地 基)	十 號 潛 隊
區 有 灣 ラ ニ マ	オ ロ ン ガ ボ	區 有 灣 ラ ニ マ (グ グ ス ナ 地 基)	十 號 潛 隊
區 有 ド ン ナ ル エ フ ン サ	サ ン ト ウ マ ス	區 有 ド ン ナ ル エ フ ン サ	三 號 木 曾 丸 船
區 有 ド ン ナ ル エ フ ン サ	サ ン ト ウ マ ス	區 有 ド ン ナ ル エ フ ン サ	三 號 木 曾 丸 船
區 有 灣 ク ッ ピ ス	ス ピ ッ ク 灣 區	ス ピ ッ ク 灣 區	阿 蘇 丸 船

日 名											
一	二	三	四	五	六	七	八	九	一〇	興嶺丸	第三十一特別根據地隊
二	三	四	五	六	七	八	九	一〇	一一	二京丸	第五十二駆潜隊
三	四	五	六	七	八	九	一〇	一一	一二	十一京丸	第一砲艦隊
四	五	六	七	八	九	一〇	一一	一二	一三	武昌丸	第三十二特別根據地隊
五	六	七	八	九	一〇	一一	一二	一三	一四	一五京丸	第五十一駆潜隊
六	七	八	九	一〇	一一	一二	一三	一四	一五	一六京丸	一六京丸
七	八	九	一〇	一一	一二	一三	一四	一五	一六	一七京丸	一七京丸
八	九	一〇	一一	一二	一三	一四	一五	一六	一七	一八京丸	一八京丸
九	一〇	一一	一二	一三	一四	一五	一六	一七	一八	一九京丸	一九京丸
一〇	一一	一二	一三	一四	一五	一六	一七	一八	一九	二〇京丸	二〇京丸

上陸部隊ヨリ除クル

八	六	五	四	三	二	一	九	八	七	六	五	四	三	二	一
小 船	大 船	小 船	大 船	小 船	大 船	小 船	大 船	小 船	大 船	小 船	大 船	小 船	大 船	小 船	大 船
バタコ	トバタコ	バタコ	トバタコ	バタコ	トバタコ	バタコ	トバタコ	バタコ	トバタコ	バタコ	トバタコ	バタコ	トバタコ	バタコ	トバタコ
区 哨 口 湾 ラ ニ マ												村 雨	第 二 驅 逐 隊		
(地 基 ブ グ ス ナ)												五 月 雨			
戦 作 略 攻 島 イ ナ パ												春 雨	第 三 四 驅 逐 隊		
(衛 護 団 船)												夕 立			
高 上 同												海 風	第 四 十 六 掃 海 隊		
区 哨 湾 ク ツ ビ ス												江 風			
区 哨 湾 ク ツ ビ ス												山 風	第 四 十 六 掃 海 隊		
区 哨 湾 ク ツ ビ ス												長 十 八			
区 哨 湾 ク ツ ビ ス												長 三 十 一			
ル カ 除 リ コ 隊 部 島 菲												橋 五 十 六	第 四 十 六 掃 海 隊		
区 哨 湾 ク ツ ビ ス												凡			
区 哨 湾 ク ツ ビ ス												凡			
区 哨 湾 ク ツ ビ ス												凡	第 四 十 六 掃 海 隊		
区 哨 湾 ク ツ ビ ス												凡			
区 哨 湾 ク ツ ビ ス												凡	第 四 十 六 掃 海 隊		
区 哨 湾 ク ツ ビ ス												凡			